

**ボトムフラット 650
リファインルーフ 650・635
施工の手引き**



津熊鋼建株式会社

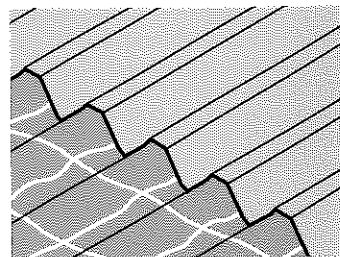
施工の流れ

【工 程】	【作業内容】
葺き板搬入	荷揚げ・養生
↓	
安全対策	安全ネットの敷き込みと足場板の配置
↓	
屋根面の点検	既設スレート屋根の点検と清掃
↓	
既設屋根の整備	既設フックボルトのネジ頭部切断他
↓	
墨出し	ビス止め位置の割付けと墨出し
↓	
屋根施工	屋根本体の取付け
↓	
役物取付け	軒先・棟・ケラバ等各部位の納め
↓	
雨といの整備	軒とい・堅といの整備または取替え
↓	
片づけ、清掃	残材整理、駄目廻り点検
↓	
完成・引渡し	

労働安全規則 第五百二十条

(スレート等の屋根上の危険の防止)

事業者は、スレート、木毛板等の材料でふかれた屋根の上で作業を行なう場合において、踏み抜きにより労働者に危険を及ぼすおそれのあるときは、幅が三十センチメートル以上の歩み板を設け、防網を張る等踏み抜きによる労働者の危険を防止するための措置を講じなければならない。

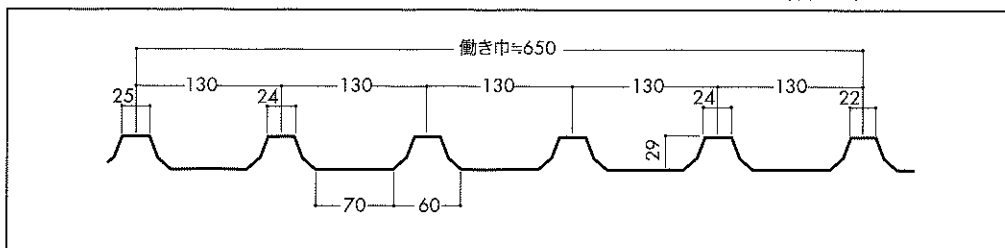


スレート屋根改修工法

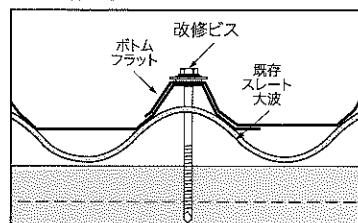
ボトムフラット 650 とリファインルーフは大波・小波スレート屋根改修のための工法として開発したものです。この資料は、スレート屋根の改修を適確に行うための標準的な手引書です。施工にあたっては、地域の特性を考慮して、ご使用くださいますようお願いいたします。

ボトムフラット650 [ヤネ用]

■断面形状

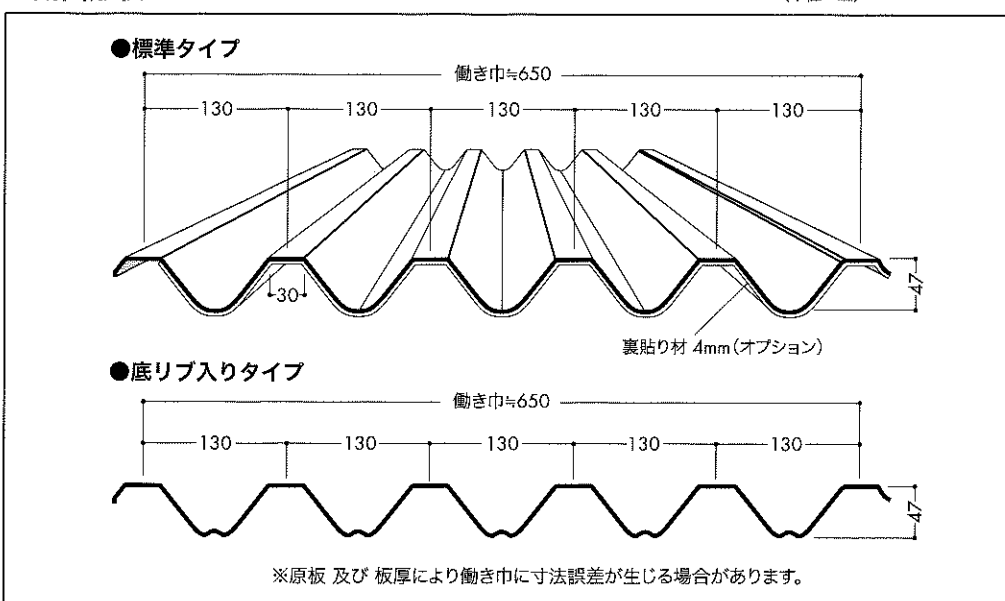


■締結部

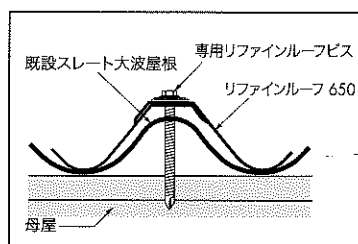


リファインルーフ650

■断面形状

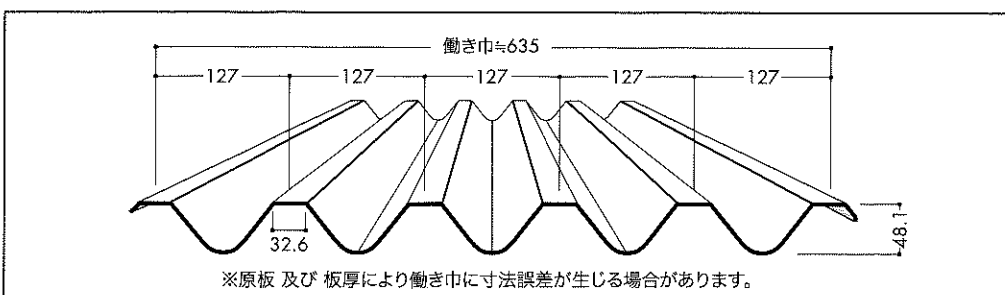


■締結部

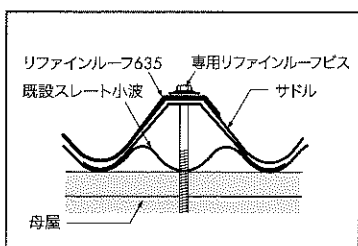


リファインルーフ635

■断面形状



■締結部

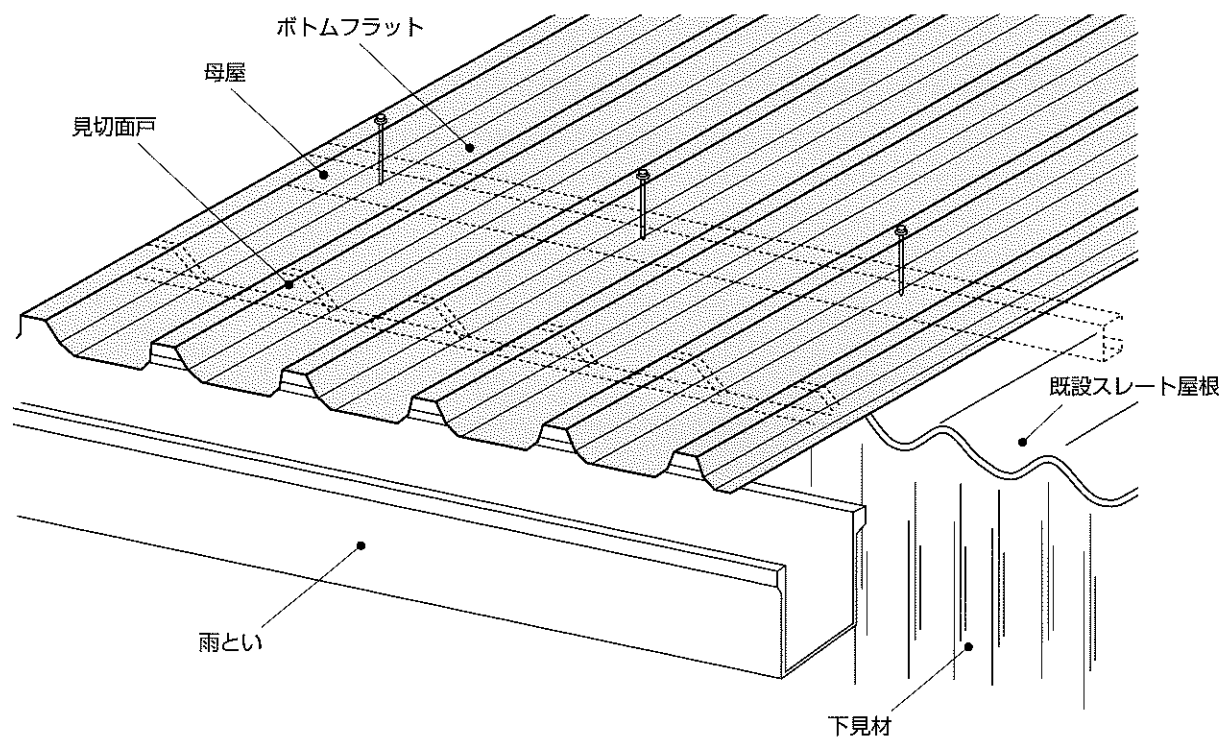


◆付属部材については総合カタログにて確認ください◆

ボトムフラット 650

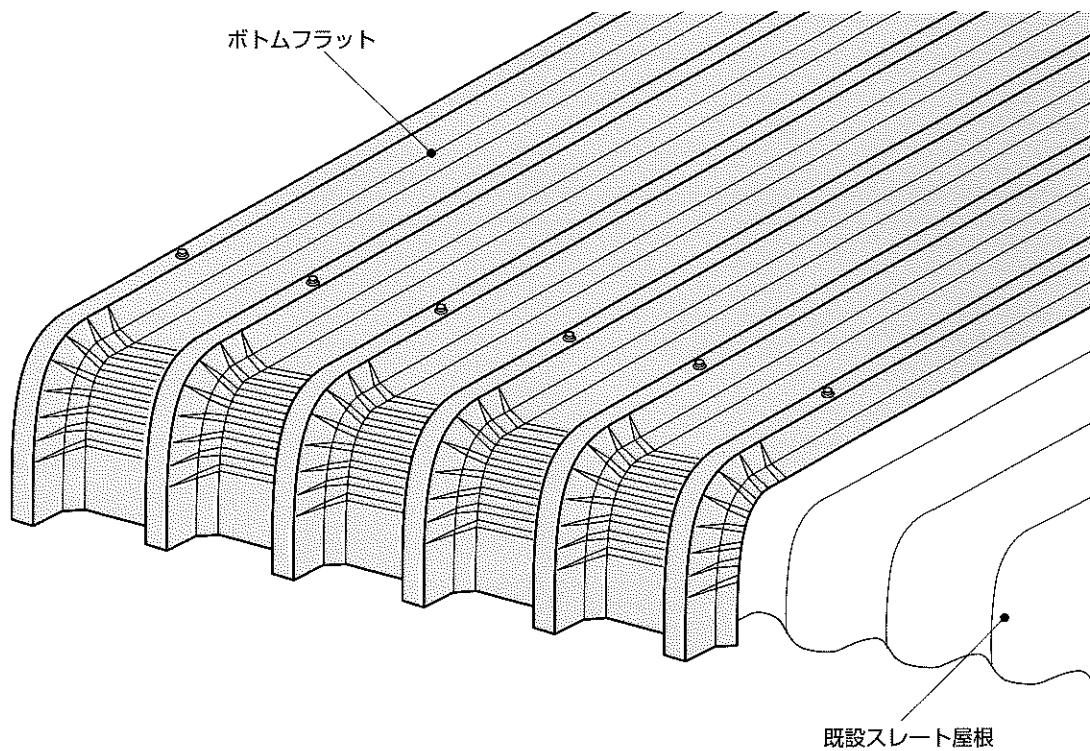
(1) 軒先納め

見切面戸をつけて納める場合。



(2) 軒先納め (R 曲げ加工)

既設の大波先曲げスレートに合わせて R 曲げ加工して納める場合。

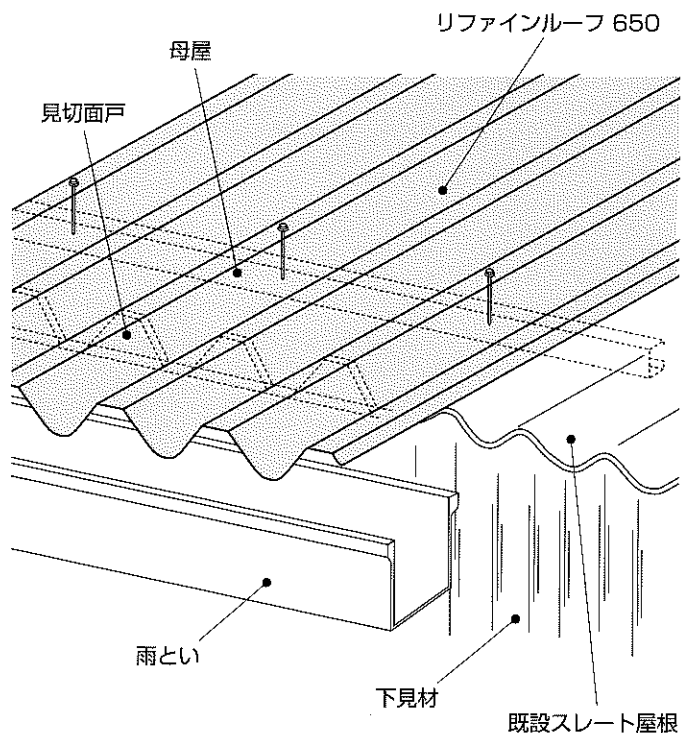


リファインルーフ 650・635

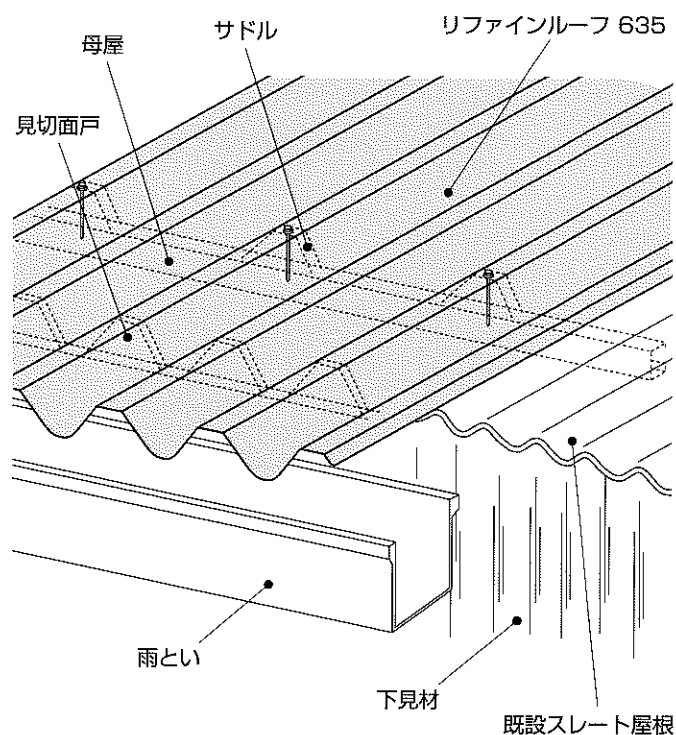
(1) 軒先納め

見切面戸をつけて納める場合。

リファインルーフ 650



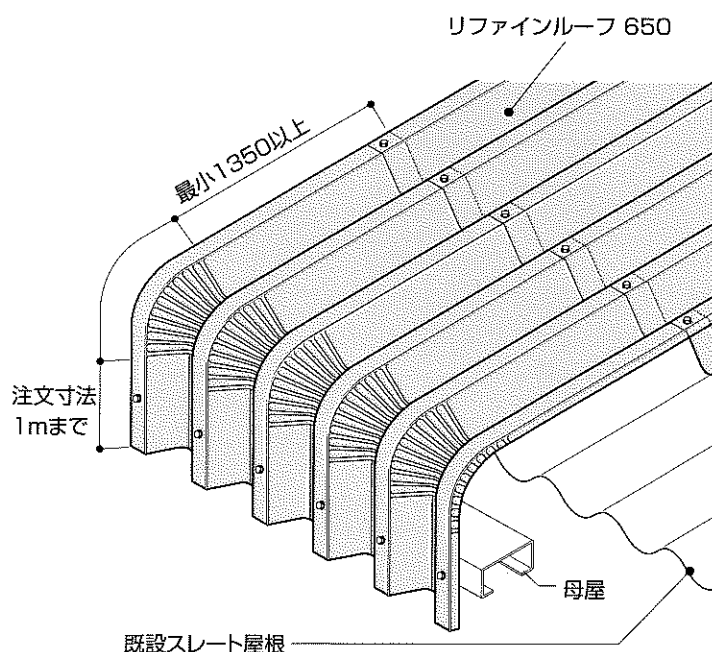
リファインルーフ 635



(2) 軒先納め (R 曲げ加工)

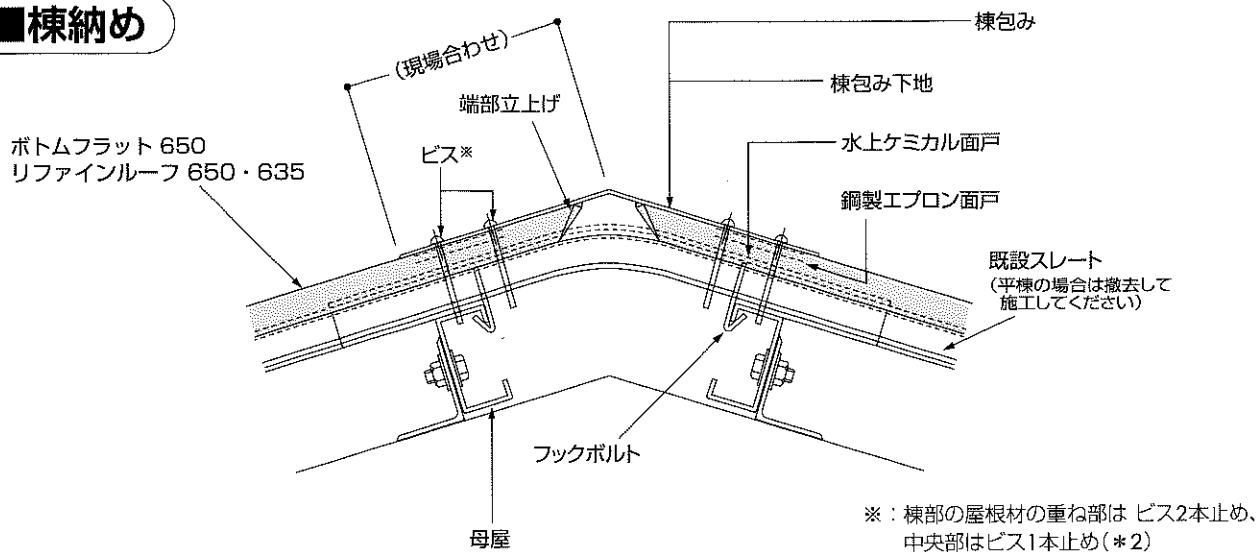
既設の大波先曲げスレートに合わせて R 曲げ加工して納める場合。

リファインルーフ 650

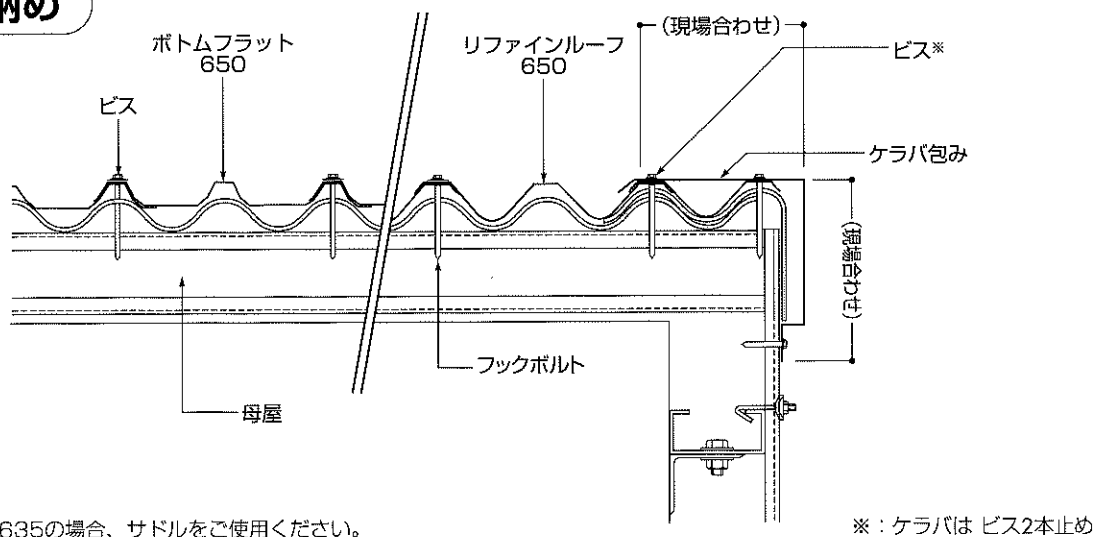


各部位納め例 断面詳細図

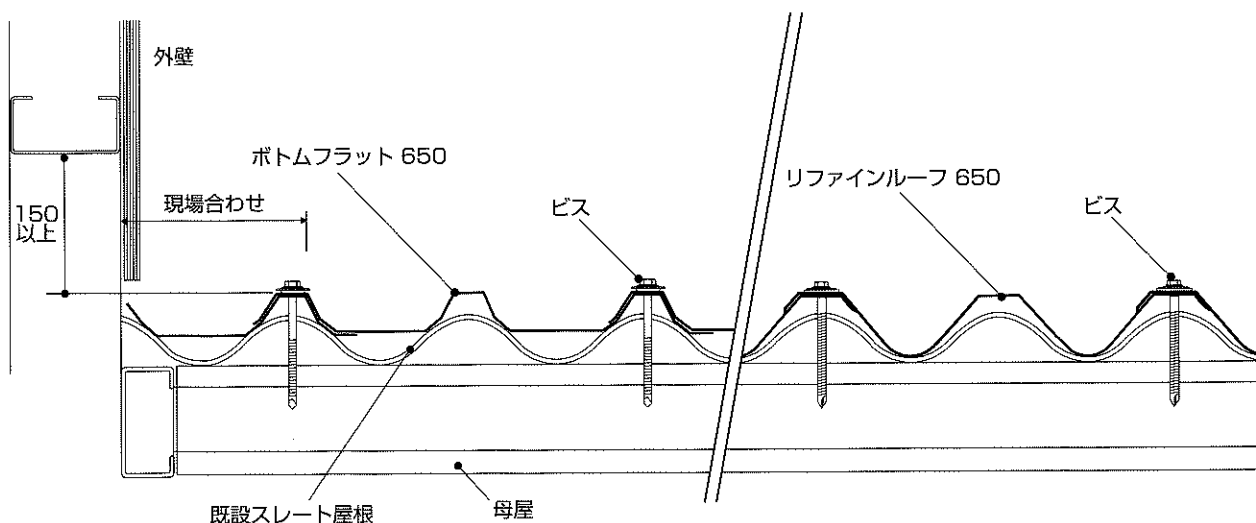
■棟納め



■ケラバ納め



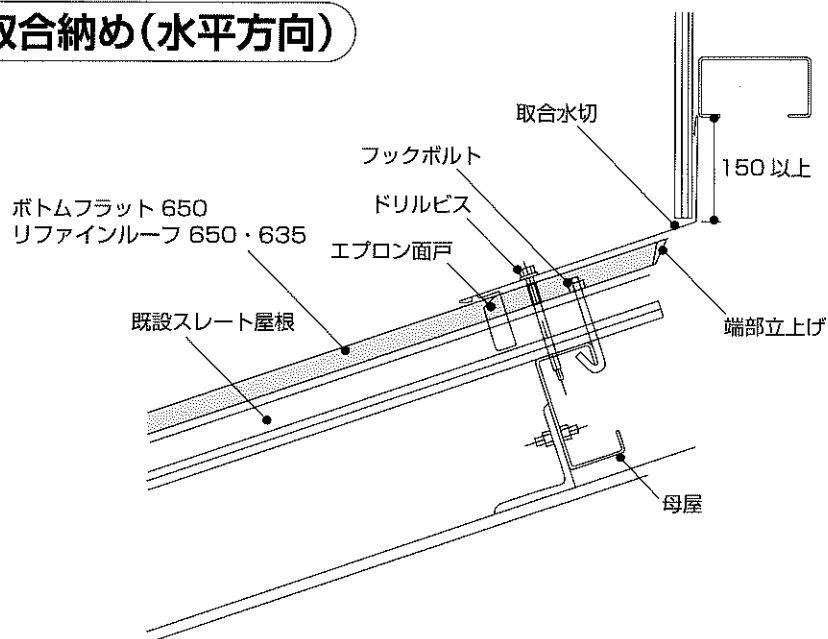
■壁取合納め(流れ方向)



●リファインルーフ 635 の場合、サドルをご使用ください。

■壁取合納め(水平方向)

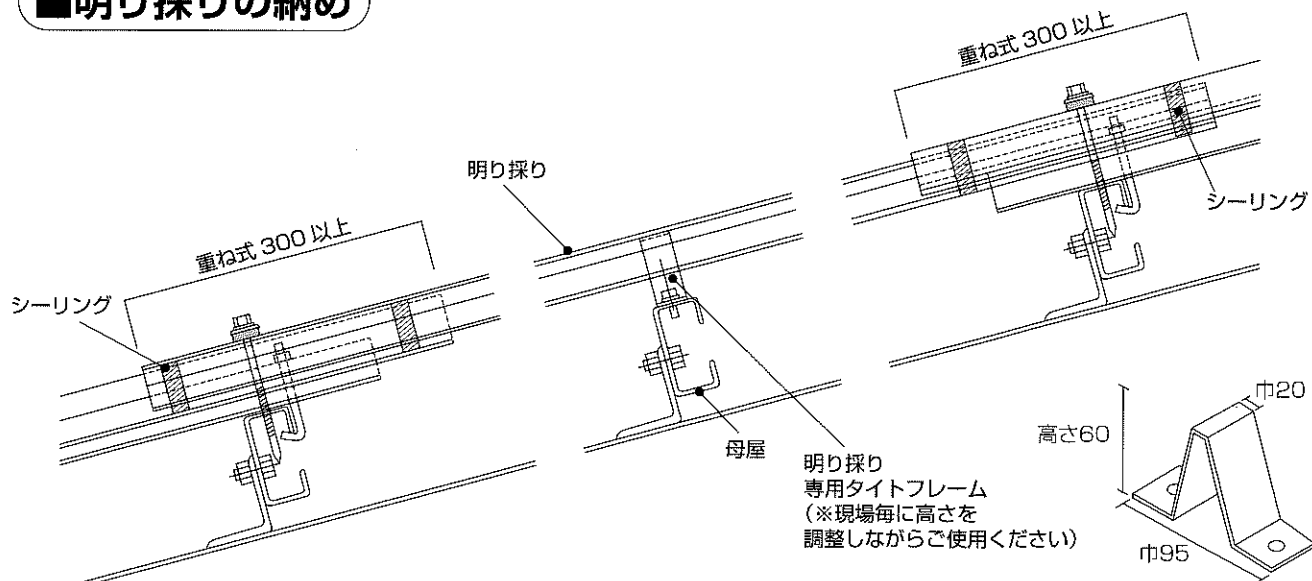
[単位：mm]



●リファインルーフ 635の場合、サドルをご使用ください。

■明り採りの納め

[単位：mm]



●明り採り専用タイトフレーム

■FRP 明り採り形状図

[単位：mm]

品 名	形 状	厚 さ
ボトムフラット 650		1.5
リファインルーフ 650		1.2
リファインルーフ 635		1.2

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 警告 この表示の欄は、「取り扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

- 高所作業を伴いますので、転落による事故防止のため、高所作業の正しい服装と保護具を着用し、足場の点検を行ってください。
- 2メートル以上の高所作業は、安全ベルト、命綱の携帯が法律で規定されています。事故の可能性がありますので、関係法規に従ってください。
- 金属製屋根・外装材ですので、けがを防止するために、必ず作業手袋を着用してください。
- 強風・雨天・降雪・雷鳴時の場合は施工しないでください。落下または落雷事故の恐れがあります。
- 雨や露で屋根面がぬれている場合は、施工しないでください。滑り落ちる恐れがあります。
- 金属製屋根や金属部材は、電線等に触れないように取り扱いってください。感電の恐れがあります。
- 固定していない屋根材・役物の上には絶対に乗らないでください。
- 屋根上での歩行は、屋根材に過度の負荷が加わらないように注意してください。滑落する恐れがあります。

⚠ 注意 この表示の欄は、「取り扱いを誤ると、人が障害を負う危険または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

- 作業規律の徹底を図り、健康状態のチェックをしてください。身体の異常があるときの高所作業は中止してください。
- 屋根材は風で吹き飛ばされないように設置してください。また風の吹いているときに持ち運ぶ場合、あおられないよう、足元を固めてください。
- 断熱材貼り製品の場合、裏面や切断面に溶接の炎、火花などがあたると引火する恐れがあるので、養生するなど特にご注意ください。
- 屋根上で作業中に出る加工片や切粉は、さびの原因となりますので、確実に取り除いてください。
- 異種金属との接触は、もらいさびの原因となりますので、避けてください。
- 現場加工時に、鉄板の切断面に生じたバリは、けがをする可能性がありますので取り除いてください。
- 製品の屋外保管の場合は防水シートで覆い、雨水に濡れないようにしてください。
- 施工したあとの屋根面の塗装に傷がつかないように注意してください。もし傷をつけてしまった場合は、必ず補修塗料で補修をしてください。
- シーリング材、補修スプレー、補修塗料などは、正しくご使用ください。
- 電動工具やその他の工具をご使用の際は、各工具の取扱説明書に従って、正しくご使用ください。
- 落ち葉やごみなどは作業者の足を滑らせたり、目を傷つけたりして事故の原因となることがありますのでご注意ください。毎日の作業前・終了後は、現場の掃除をしてください。
- 梱包材・残材等は分別して産業廃棄物として処分してください。

免責事項

金属屋根材および外装材は、建築材料・製品として、十分満足できる品質・性能を備えていますが、正しい施工と適切な維持管理がなされることによって、初めて耐久性や耐候性、その他の機能が発揮されるものです。下記の項目に反した使用により不具合が発生した場合、弊社では責任を負いかねます。ご了承ください。

- 元請の施工管理が十分なされなかったことに起因する場合。
- 施工店による、施工や取り扱いが原因で不具合が生じた場合。
- 入居者の維持管理の不注意・装置の取り付けまたは、改修・改築等により不具合が生じた場合。
- 入居者または第三者の故意・過失等により不具合が生じた場合。
- 建物の構造上に起因する変形、変位または結露、下地材の腐朽等による不具合が発生した場合。
- 施工に起因する事故、釘部のさび・切り粉によるもらいさび、およびカビによる汚染等が発生した場合。
- 瑕疵を発見後、速やかに通知が出されなかった場合。
- 屋根・外装材に付着した切粉・加工屑・落ち葉・動物の排出物・粉塵等が原因で不具合が生じた場合。
- シーリング部に不具合が発生した場合。
- 通常の経年変化による変色・汚れが生じた場合。
- 建築基準法および関係法規に違反した使用により不具合が生じた場合。
- 天変地異・周辺環境・大気汚染・塩害等に起因する特殊環境下で不具合が生じた場合。
- 契約当時、実用化された技術では予測することが不可能な現象に起因する場合。
- 屋根・外装材以外の用途で使用し、不具合が生じた場合。
- 水が溜まる状態の部分の塗膜損傷および電食作用が原因で不具合が生じた場合。

その他ご不明な点がございましたら弊社にご相談ください。

常に消費者のニーズに応える



津熊鋼建株式会社

<http://www.tsukuma.co.jp>

E-mail: info@tsukuma.co.jp

本社 ☎ 574-0052 大東市新田北町3番47号

☎ 072-872-2131 ☎ 072-873-6005

門真工場 ☎ 571-0015 門真市三ツ島6丁目22番16号

☎ 072-887-2000 ☎ 072-887-2377

☆ 製品改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

SH-PR★19・1・300★635/650